

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> 『よい習慣の定着』をめざした学校づくり・授業づくりを通して、主体的に学習に取り組むための意欲の向上を図る ICTを活用した協働的な学びによる授業実践の推進を図る 	A	<p>「聞き方」「話し方」の重点化を通して学力の安定を図り、自分のペースで理解しながら、学習を続ける児童が増加した。</p> <p>英語科では、ALTやICTを有効に活用することで、仲間とのコミュニケーション活動を楽しみ、外国の文化に親しんだ。</p> <p>ICT活用研修を通して活用方法を共有し、教育活動への利活用が定着した。</p>	<p>授業に臨む姿は、以前と比べて本当に静かで、学年が上がるにつれて落ち着いているが、もっと活力があってもよい。</p> <p>教育委員会も学校も、保護者・児童側に立ちすぎず教育活動が困難になっているのではないか。学校が主導権を持つことも大切である。</p>	<p>子どもの意欲を生かした自立的な生活をつくるために、児童の主体性を引き出し、意欲を喚起させる指導改善をめざす。</p> <p>粘り強くあきらめない姿を目指し、教育活動全般を通して指導をしていく。</p> <p>読書については、改善の力点とし、児童、教師、家庭の多面的な指導を強化する。</p>
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校、家庭、地域及び中学校との連携による教育上の効果を確かめ、取組の在り方を検証し、『ふるさと長森・岐阜』を愛する心情を育成する 	A	<p>総合的な学習の時間における外部講師や見学場所等の選定を学校運営協議会委員と検討し、地域と共に課題解決をめざす学習過程の理解を深めた。</p> <p>公民館運営協議会を通して、学校・公民館共催の人権講話を企画し、地域住民と共に情報モラルを学ぶ機会を生んだ。</p>	<p>未来の姿から逆算した計画的な学校運営は興味深い。今後の対応に期待したい。</p> <p>「多様性への理解」や「柔軟な対応」等、地域に求められることも一緒に考えていきたい。</p> <p>地域に愛着と誇りを持てる子どもたちを育ててほしい。</p>	<p>学校行事・地域行事の見直しによる学校と地域の教育効果の再考し、より効果的な取組みを検討する。</p> <p>地域の実態に基づく目指す児童・生徒像を共有し、地域の教育力を生かした連携のあり方を探る。</p>
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究及び校内研修を軸として、教職員の力量形成を図る 職員の主体性を基盤とする研修体制を構築し、生徒指導事案の減少による多忙化の解消を図る 	A	<p>ブロック人権教育研を節目に年6回の公開授業を通して指導力の向上を図り、各学年部による運営を通して互いに学び合う組織力を高めた。</p> <p>研修主事や研究推進長、生徒指導主事の企画による研修を行い、児童の変化に注目した取組みを通して、個々の実践を深めることができた。</p>	<p>先生方はとても熱心に指導されており、授業での工夫も感じられる。</p> <p>確実に子どもたちは育っているから地域としても、協力できることはしていきたい。</p>	<p>関係機関との連携を密にし、科学的な児童理解と分析を踏まえた指導対応を常時できる体制を築く。</p> <p>多忙化解消に向けた不断の取組と力量形成の両立を図る学校経営により、働きがいのある職場を実現する。</p>
子どもたちが安心して学べる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもの居場所づくりの実現を目指した適切な指導・支援の在り方を考える。 	A	<p>地域の実態を踏まえた人権教育の重要性を教師が理解し、ひびき合い委員会等児童の手によるよき見つけの意義を踏まえた活動を推進した。</p> <p>「いじめを見逃さない日」の取組をいじめ対策監を中心に全校一丸となって実施し、未然防止教育を計画的に行った。</p>	<p>子ども文化クラブのように、学校に居場所のない子のやりがいになる所を維持していきたい。</p> <p>情報モラルのように大人も身につけなければならぬことを地域も考えて。</p>	<p>生徒指導の諸問題を未然に防ぎ、発生時に即時対応するために、更に迅速で確実な情報共有と組織対応できる指導体制をめざす。</p> <p>チーム指導体制を構築し、学級担任による一元的な指導を解消し、多様な児童への柔軟な対応を実現する。</p>
災害、事故に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の命は自分で守る」意識の定着を目指した安全指導を行う 未然予防、早期発見、即時対応による子どもの安全確保の徹底を図る 	A	<p>様々な状況を想定した命を守る訓練やPTAによる着衣泳訓練の実施を通して、児童自身が考えて行動する姿の育成を職員と保護者で共有することができた。</p> <p>不登校対策会議や個別のケース会議の実施を通して、組織的な対応の意識を深めることができた。</p>	<p>水害には脆弱な地域であるため、消防・水防団とも連携して、防災対策がとれるとよい。</p> <p>ガードレールや標識の設置など、地域の危険箇所については、自治会からも働きかけていきたい。</p>	<p>行政・地域と共に行う防災訓練・防災教育を通して災害に強い対応力を持つ地域を実現する。</p> <p>大小にかかわらず事故の発生を想定した訓練を行い、職員の危機管理に対する意識を高めていく。</p>
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの視点を生かした学習環境と指導課程の構築を図る 日常的な安全点検による教育施設の整備を行う 	B	<p>日常点検、定期的安全点検を実施を通して、校内の危険箇所を抽出し、迅速に対応、改善することができた。</p> <p>他校の事故案件を基に、本校での発生を防止するために検証点検を行った。</p>	<p>校舎は古いがいきれいに掃除がされており、丁寧に使われているように感じる。</p> <p>古いからこそ、有事の際の安全対策には十分な配慮していただきたい。</p>	<p>ユニバーサルデザインの視点による環境整備を物的対応だけでなく質的対応へと移行し、授業の展開や指導における改善を促す。</p> <p>学校の備品・財務管理について適切な点検作業を行い、安全と正確さを担保する。</p>